

一般社団法人 日本原子力学会 標準委員会  
第 55 回 リスク専門部会 議事録

1. 日 時：2021年2月10日（水）13:30～17:15

2. 会議方式：Web 会議

3. 出席者（敬称略）

（出席委員）山本部長，高田副部長，桐本幹事，青木，五十嵐，糸井（審議案件の途中出席），  
今井（審議案件の途中出席），倉本，栗坂，佐々木，曾根田，高田，高橋，武部，  
千歳，益子，松本，丸山，吉田（19名）

（代理委員）二木 貴敏（テプコシステムズ／佐藤委員）（1名）

（欠席委員）岡本，中島，森山（3名）

（委員候補者）竹内 裕行（東芝エネルギーシステムズ）

（常時参加者）菅谷，砂田，成宮，藤崎（4名）

（欠席常時参加者）鈴木，小城，西村，堀田（4名）

（説明者）【断層変位 PRA 作業会】糸井主査，酒井幹事  
【レベル 2PRA 分科会】成宮副主査，濱崎幹事，宇井委員  
【レベル 1PRA 分科会】高田主査，桐本副主査，橋本幹事  
【地震 PRA 作業会】成宮幹事，原口委員  
【標準活動基本戦略タスク】成宮幹事  
【JIWG コーディネータ】砂田常時参加者（延べ 14 名）  
（事務局）田老，牧野（2名）

4. 配付資料

RKTC55-00 第 55 回リスク専門部会議事次第（案）

RKTC55-01 第 54 回リスク専門部会議事録（案）

RKTC55-02 人事について

RKTC55-03-1 “原子力発電所に対する断層変位を起因とした確率論的リスク評価に関する実施基準：202X” の  
再公衆審査の結果について

RKTC55-03-2 “原子力発電所に対する断層変位を起因とした確率論的リスク評価に関する実施基準：202X” の  
再公衆審査からの変更について

RKTC55-03-3 “原子力発電所に対する断層変位を起因とした確率論的リスク評価に関する実施基準：202X”  
（完本版）

RKTC55-04-1 “原子力発電所の出力運転状態を対象とした確率論的リスク評価に関する実施基準  
（レベル 2 PRA 編）201X” 津波への適用範囲拡張の中間報告（規定文案）に関する  
意見募集の結果について

RKTC55-04-2 “原子力発電所の出力運転状態を対象とした確率論的リスク評価に関する実施基準  
（レベル 2 PRA 編）201X” 津波への適用範囲拡張の中間報告（規定文案）に関する  
意見募集で受け付けた意見への対応について

RKTC55-05-1 “原子力発電所の内的事象を起因とした確率論的リスク評価に関する基準及び同指針  
（レベル 1 PRA 編）202X” 標準案に関する意見募集の結果について

RKTC55-05-2 “原子力発電所の内的事象を起因とした確率論的リスク評価に関する基準及び同指針  
（レベル 1 PRA 編）202X” 新規標準案の中間報告意見対応について

RKTC55-05-3 “原子力発電所の内的事象を起因とした確率論的リスク評価に関する基準及び同指針  
（レベル 1 PRA 編）202X” 専門部会中間報告コメント対応及び変更点

RKTC55-05-4 “原子力発電所の内的事象を起因とした確率論的リスク評価に関する基準（レベル 1PRA 編）：  
202X” 中間報告コメント対応案

RKTC55-05-5 “原子力発電所の内的事象を起因とした確率論的リスク評価に関する指針（レベル 1PRA 編）：  
202X” 中間報告コメント対応案

- RKTC55-06-1 標準における基準と指針の定義，リスク専門部会における標準の階層化の整理に関する意見募集の結果について
- RKTC55-06-2 標準における基準と指針の定義，リスク専門部会における標準の階層化の整理
- RKTC55-06-3 基準と指針の定義\_階層化の意見集約表
- RKTC55-07-1 リスク専門部会 標準策定5カ年計画（2021年度版案）
- RKTC55-07-2 標準アンケートへの対応
- RKTC55-08 2020年度「倫理教育の周知徹底」に関する活動状況について
- RKTC55-09 “原子力発電所の出力運転状態を対象とした確率論的リスク評価に関する実施基準（レベル2 PRA 編）201X” 標準原案（地震への拡張）の転載許諾の状況について
- RKTC55-10-1 地震 PRA 標準英語版に関する JCNRM コメントへの検討状況
- RKTC55-10-2 地震 PRA 標準英語版に関する JCNRM コメント対応表
- RKTC55-11-1 標準委員会規程
- RKTC55-11-2 標準委員会運営規約
- RKTC55-11-3 標準委員会運営細則
- RKTC55-11-4 標準委員会専門部会運営細則
- RKTC55-11-5 標準作成ガイドライン
- RKTC55-11-6 標準策定5か年計画の更新ガイドライン
- RKTC55-12 日本原子力学会 2021年春の年会 標準委員会企画セッション
- RKTC55-13 Topics of JIWG\_Feb. 2021
- RKTC55-14 分科会活動状況

参考資料

- RKTC55-参考1 リスク専門部会委員名簿
- RKTC55-参考2 リスク専門部会出席実績

5. 議事内容

(0) 出席者確認

事務局から開始時，委員23名中，18名が出席しており，成立に必要な定足数（16名以上）を満たしている旨が報告された。審議案件中に2名が参加し20名の出席となった。

(1) 前回議事録（案）について（RKTC55-01）

前回議事録（案）について配布された内容で承認された。

(2) 人事について（RKTC55-02）

事務局から RKTC55-02 に基づき，専門部会及び分科会の人事について以下の提案があり，分科会の委員退任等が確認され，審議の結果，専門部会委員の選任等が決議された。

また，事務局から，山本部会長の標準委員会での副委員長指名に伴い，新たに部会長を選出することとなったことから，専門部会長の互選を14日間の郵送による投票を実施したい提案があり，提案とおりに承認された。

【専門部会】

1. 決議事項

(1) 委員選任

竹内 裕行 東芝エネルギーシステムズ

(2) 委員再任

益子 裕之 原子燃料工業 2021. 06～2023. 05

2. 確認事項

(1) 委員退任

三村 聡 東芝エネルギーシステムズ 2021. 2. 9

## 【分科会】

### ○レベル 1PRA 分科会

#### 1. 確認事項

##### (1) 常時参加者登録承認

寶田 翔 東京電力ホールディングス

### ○レベル 2PRA 分科会

#### 1. 承認決議事項

##### (1) 委員選任

池田 敦生 原電エンジニアリング

#### 2. 確認事項

##### (1) 常時参加者登録解除

片上 雄介 四国電力 2020. 8. 11

##### (2) 常時参加者登録承認

芦谷 竜門 九州電力

### ○レベル 3PRA 分科会

#### 1. 承認決議事項

##### (1) 委員選任

菅野 光大 ヴィジブルインフォメーションセンター

#### 2. 確認事項

##### (1) 委員退任

龍福 進 ヴィジブルインフォメーションセンター 2020. 9. 24

##### (2) 常時参加者登録承認

藤井 裕 日本原子力発電

### (3) 【報告・審議】 (RKTC55-03-1～RKTC55-03-3)

“原子力発電所に対する断層変位を起因とした確率論的リスク評価に関する実施基準：202X”  
標準原案の再公衆審査結果について

(担当：事務局，断層変位 PRA 作業会 糸井主査，酒井幹事)

事務局から RKTC55-03-1 に基づき，題記標準原案の再公衆審査の結果，ご意見が無かった旨の報告があった。引き続き断層変位 PRA 作業会 酒井幹事から RKTC55-02，RKTC55-03-3 に基づき，再公衆審査版からの変更点について説明があり，審議の結果，本対応案は編集上の修正であること，および次回標準委員会に報告することが決議された。

### (4) 【報告】 (RKTC55-04-1, RKTC55-04-2)

“原子力発電所の出力運転状態を対象とした確率論的リスク評価に関する実施基準(レベル2 PRA編) 201X”  
津波への適用範囲拡張の中間報告(規定文案)に関する標準委員会意見募集結果及び受け付けた意見への対応について

(担当：事務局，レベル2PRA分科会 阿部主査，成宮副主査，濱崎幹事，中村委員)

事務局から RKTC55-04-1 に基づき，題記中間報告(規定文案)に関する意見募集の結果，3名の委員から意見があった旨の報告があった。引き続きレベル 2PRA 分科会 濱崎幹事から RKTC55-04-2 に基づき，受け付けた意見への対応案についての説明があり，主な対応が，解説への反映となるため，具体的な反映については，次回報告することになった。

主な質疑，コメント等は以下のとおり。

Q：次回に本報告を行い，その際に解説等への意見の反映を説明するという理解でよいか。

A：その理解でよい。

### (5) 【報告・審議】 (RKTC55-05-1～RKTC55-05-5)

“原子力発電所の内的事象を起因とした確率論的リスク評価に関する基準及び同指針(レベル1 PRA編) 202X”  
新規標準案に関する当専門部会意見募集結果及び受け付けた意見への対応について

(担当：事務局，レベル1PRA分科会 高田主査，桐本副主査，橋本幹事)

事務局から RKTC55-05-1 に基づき，題記新規標準案に関する意見募集の結果，6名の委員から意見があった旨の報告があった。引き続きレベル1PRA分科会 高田主査，桐本副主査，橋本幹事から RKTC55-05-2～RKTC55-05-5 に基づき，受け付けた意見への対応案についての説明があり，審議の結果，次回標準委員会に中間報告することが決議された。

主なコメントは以下のとおり。

- C：基準と指針の構成そのものについて解説がないため，追記すること。
- C：脚注はあまり推奨されていないので，使用の適否について検討すること。
- C：基準／指針の二部構成によって判り難さが生じないように，今後も継続して検討されたい。
- C：標準委員会への説明書において，委員会への報告趣旨，今回の専門部会議論を入れて修正する。標準委員会では，この基準／指針の構成が必ずしもリスク専門部会の標準全体に適用するものではないことが判るようにする。標準委員会への中間報告資料案は別途送付する。

(6) 【報告・審議】 (RKTC55-06-1～RKTC55-06-3)

標準における基準と指針の定義，リスク専門部会における標準の階層化の整理に関する当専門部会意見募集結果及び受け付けた意見への対応について

(担当：事務局，リスク専門部会 桐本幹事)

事務局から RKTC55-06-1 に基づき，題記階層化の整理に関する意見募集の結果，7名の委員から意見があった旨の報告があった。引き続きリスク専門部会 桐本幹事から RKTC55-06-2，RKTC55-06-3 に基づき，意見募集で受け付けた意見への対応案についての説明があった。審議の結果，2週間の意見募集を実施することが決議された。

(7) 【報告・審議】 (RKTC55-07-1，RKTC55-07-2)

標準策定5か年計画の更新について

(担当：リスク専門部会 桐本幹事)

リスク専門部会 桐本幹事から RKTC55-07-1，RKTC55-07-2 に基づき，題記標準策定5か年計画の更新についての説明があり，審議の結果，次回の標準委員会へ報告することが決議された。

(8) 【報告・審議】 (RKTC55-08)

倫理教育の受講実績について

(担当：リスク専門部会 桐本幹事)

リスク専門部会 桐本幹事から RKTC55-08 に基づき，題記受講実績についての報告があり，審議の結果，次回の標準委員会へ報告することが決議された。

(9) 【報告】 (RKTC55-09)

“原子力発電所の出力運転状態を対象とした確率論的リスク評価に関する実施基準 (レベル2 PRA編) 201X” 標準原案 (地震への拡張) の転載許諾の状況について

(担当：レベル2PRA分科会 阿部主査，成宮副主査，濱崎幹事，中村委員)

レベル2PRA分科会 濱崎幹事から RKTC55-09 に基づき，題記転載許諾の状況についての報告があった。

主な質疑，コメント等は以下のとおり。

- Q：許諾手続きは，いつ頃終わりそうか。
- A：海外への申請も含まれており，時間がかかる模様。回答が返ってこない場合もあり，その場合には，標準の見直しも必要になる。
- Q：転載許諾手続き中なので，次回の標準委員会には報告しないことでよいか。
- A：それでよい。

(10) 【報告】 (RKTC55-10-1, RKTC55-10-2)

“A Standard for Procedure of Seismic Probabilistic Risk Assessment for Nuclear Power Plants 2015” に関するJCNRMコメントへの対応状況

(担当：地震PRA作業会 成宮幹事, 原口委員)

地震PRA作業会 成宮幹事から RKTC55-10-1, RKTC55-10-2 に基づき、題記コメントへの対応状況についての報告があり、次回専門部会での改定文案の中間報告を行い意見募集を行うことになった。

(11) 【報告】 (RKTC55-11-1～RKTC55-11-6)

規程類の改正について

- (1) 標準委員会規程
- (2) 標準委員会運営規約
- (3) 標準委員会審議細則
- (4) 標準委員会専門部会運営細則
- (5) 標準作成ガイドライン
- (6) 標準策定5か年計画の更新ガイドライン

(担当 事務局)

事務局から RKTC55-11-1～RKTC55-11-6 に基づき、題記規程、規約、細則の改定について、理事会で承認、報告され、1月26日に施行となったこと、及びガイドラインについては12月2日の標準委員会で承認されたこと、また全ての規程類を学会HPにアップした旨の報告があった。

(12) 【報告】 (RKTC55-12)

原子力学会2021春の年会企画セッションの提案

(担当：標準活動基本戦略タスク 成宮幹事)

標準活動基本戦略タスク 成宮幹事から RKTC55-12 に基づき、題記提案について説明があった。

(13) 【報告】 (RKTC55-13)

JCNRM への JIWG 活動報告

(担当 砂田常時参加者 JIWG コーディネータ)

JIWG コーディネータ 砂田 (リスク専門部会常時参加者) から RKTC55-13 に基づき、題記について報告され、本内容で承認された。

(14) 【報告】 (RKTC55-14)

リスク専門部会 分科会活動状況について

(担当：各分科会代表者等の関係者)

分科会の代表者から STC55-14 に基づき、分科会の活動状況について報告があった。

(15) 【報告】

IAEA SSG-4改定に係るLevel 2 PRA手法の開発と適用経験に関する技術会合について (情報共有)

(担当：レベル2PRA分科会 成宮副主査, 宇井委員)

レベル2PRA分科会 成宮副主査, 宇井委員から、題記について説明があった (次回標準委員会は報告不要)。

主な質疑、コメント等は以下のとおり。

Q：標準委員会への情報共有は不要ということでよいか。

A：それでよい。

7. その他

- ・次回は、2021年5月頃の予定。(日にち未定)

以上